

# 施策評価シート

評価実施年度：平成29年度

事務事業所管部局長 (幹事部局)	環境生活部長 犬丸 淳	電話番号	0852-22-5231
---------------------	-------------	------	--------------

## ①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
目的	〇県民が将来にわたって豊かな自然の恵みを享受できるよう、多様な自然の保全に取り組みます。

## ②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
自然保護ボランティア登録者数	目標値		331.0	340.0	350.0	360.0	人	県民協働の森づくり活動 年間参加者数	目標値		60100.0	60800.0	61700.0	62400.0	人	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	322.0	328.0						実績値	59584.0	55741.0					
	達成率	-	99.1	-	-	-			達成率	-	92.8	-	-	-		-
定性目標	目標値						%	平成28年度～平成31年度	目標値						%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値								実績値							
	達成率	-	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	-		
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）																

## ③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"><li>指定希少野生動植物を対象に保護巡視員・団体（知事認定：8個人、11団体）が巡視・保護活動を行った。</li><li>自然保護ボランティア、地域住民、行政機関等が連携協力し、赤名湿地（参加40人）や三瓶姫逃池（参加70人）の保全活動を行った。</li><li>みんなで守る郷土の自然等では地域住民らが保全活動を実施した。活動の周知啓発のため県や市町村相互間で情報共有の徹底と連携強化を行った。</li><li>ガン、カモ類生息調査や希少野生動植物調査等を保護団体、研究機関、NPO、行政等が連携して実施した。</li><li>六道湖・中海の環境保全では、鳥取県と連携し、シンポジウムや一斉清掃（参加8,134人）のほか子ども活動団体の交流会などを実施した。</li><li>松くい虫の防除は、樹幹注入などの予防や伐採駆除を実施し、被害量は11千立米（対前年85%）と減少傾向にある。</li><li>みーもの森づくり事業などの県民参加型の事業を実施したが、少子高齢化の影響で参加者は減少傾向にある。</li></ul>
---	--

## ④総合的な評価

評価時点での総合的な評価  A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる（見直す点がある） C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"><li>自然保護ボランティア登録者数、活動報告件数とも対前年比で増加。今後もみんなで守る郷土の自然等選定地域での地域住民の活動を通じて県民の関心を喚起させるとともに、ボランティア活動の呼び掛けやHPでの活動紹介・PR等により参加を促す必要がある。</li><li>野生動植物の生育・生息調査を研究機関、NPO、行政機関等で連携して実施した。調査結果や得られた知見は関係機関で情報共有を図り、今後の対策の検討や検証に活用していく必要がある。</li><li>六道湖・中海の環境保全では、鳥取県との連携事業を進める中で、住民・団体等によるスミアオノリの養殖や湖岸清掃など賢明利用、環境保全の取組みが実施された。今後もこうした活動の輪をさらに広げていく必要がある。</li><li>県民協働の森づくり活動については、みーもの森づくり事業などの更なるPRにより県民参加を促していく必要がある。</li><li>企業などの関わりによる森林整備のCO2吸収量は、認証対象を広げるなどの制度拡充を行い高水準で順調に推移している。</li></ul>

## ⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"><li>当面の間は、自然保護ボランティア数の確保は可能だが、将来的には、人口減少や高齢化の進行により減少が懸念される。</li><li>シカやイノシシなど一部の野生鳥獣による農林業への深刻な被害が発生している。県西部を中心に出没するツキノワグマについては、保護と被害対策の両立が課題である。</li><li>六道湖・中海の環境保全活動等に、より多くの住民に関心をもってもらい、参加してもらうことが必要。</li><li>みーもの森づくり事業などへの参加者が昨年度より若干減っているため、HPや冊子を通じて活動事例を紹介するなどして、より多くの県民が参加しやすいようPRしていく必要がある。</li><li>再生の森事業による荒廃森林の再生は順調に進んでいるが、間伐遅れの人工林や拡大竹林など荒廃森林は県の民有林面積の2割に相当すると推測されるため、今後も継続的に整備を進めていく必要がある。</li><li>人口減少などにより、水と緑の森づくり税の財源減少、少子高齢化による緑の少年団活動参加者の減少が見込まれる。</li><li>松くい虫被害防止は、守るべき松林での被害発生量に対して、被害木処理量が低迷している。予算的、地理的に制約があり、全域での防除対策は困難である。</li></ul>

## ⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>自然保護ボランティア育成研修、自然保護活動への積極的な参加及び広報・PRなどを実施し、ボランティアの担い手育成と人材の掘り起こし・確保を行い、自然保護活動への参加促進と活動の活発化を図る。</li><li>野生鳥獣については、自然保護の重要性の普及啓発に努めるとともに、関係部局が連携して、生活環境の保全や生物多様性の確保、保護活動を通じた環境教育や農林水産業への被害対策などを総合的に実施し、保護と適正な管理に取り組む。</li><li>六道湖・中海については、その恵みや賢明利用に対する関心が深まるよう、関係機関と連携し県民向けに地域の活動などの情報を発信していく。</li><li>森づくり活動への県民の積極的な活動参加を促すため、事業の更なるPRを行うことによって潜在的な森林づくりに関心のある人に参加を促すとともに、しまね森林活動サポートセンターを活用し、参加者の森林保全活動に対する技術的支援を行う。</li><li>CO2吸収に関する森林整備に対する寄付金等支援を行う意向を持つ企業などを把握し、参画を促す。</li><li>松くい虫被害については重要な区域を絞り、継続的に防除対策を実施する。また、被害地において森林組合などが実施する植林（樹種転換）に対して支援、協力する。</li></ul>
---------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全		
-------	------------------	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	自然保護のための情報収集・ 整理事業	自然保護に関する情報を収集、整理し、保護対策の資料とする。	2,587	3,315	自然環境課
2	自然環境保全地域の保全事業	優れた自然環境を保全するため、自然環境保全地域を指定し、多様な生態系を守る。	1,117	1,142	自然環境課
3	レッドデータ生物に関する調査・ 研究・保護事業	多様な種を保護する具体策を検討するための基礎資料とする。	1,822	2,168	自然環境課
4	県民参加による自然保護活動 事業	地域の自主的な活動により、優れた自然が守られている地域を増やし、多様な生態系を守るとともに、県民参加による調査活動を通して自然保護の重要性を認識してもらう。	2,773	3,229	自然環境課
5	宍道湖・中海賢明利用推進事 業	ラムサール条約湿地に登録された宍道湖・中海の「環境保全」と「賢明利用(ワイズユース)」の取り組みを一層推進し、世界に認められた両湖の豊かな自然環境を次世代に継承する。	5,306	4,200	環境政策課
6	県民参加による森づくり事業	森づくりの活動等に積極的に参加してもらい、森林・林業への理解を深めてもらう。	56,349	58,596	林業課
7	緑化推進事業	森林の保全、緑化に対する意識を醸成する。	5,439	5,578	林業課
8	水と緑の森づくり事業	荒廃森林を緑豊かな森へ再生させるとともに、緑豊かな森づくりへの県民参加を促進し、森林の様々な恵みを受けてもらう。	121,354	133,467	林業課
9	森林病虫害等防除事業	森林の中でも山地災害防止機能、防風・防砂機能、景観維持機能等について高い機能を有するマツ林等の保全を図るため、薬剤散布、被害木の伐倒処理、感染源となるマツ林等での樹種転換を行い、被害の蔓延を防ぐ。	29,275	35,399	森林整備課
10	保安林整備管理事業	森林は水源の涵養、山地災害の防止などをはじめとする多大な機能を有している。これらの森林で特に重要な役割が期待される森林を保安林に指定することにより、県民の生活環境を守り維持していく必要がある。	38,272	36,297	森林整備課
11	野生鳥獣保護対策事業	野生鳥獣が適正に生息する豊かな自然を守り育てることにより、自然環境の恵沢を享受できる県民生活の確保と地域社会の健全な発展を図る。	51,016	46,968	森林整備課
12	島根CO2吸収・固定量認証制 度普及事業	島根県における森林整備の推進に資するために実施する。県内の森林における森林整備に伴うCO2吸収量の認定を行う。	93,463	103,080	森林整備課
13	全国植樹祭実施事業	森林の保全、緑化に対する意識を醸成する。	3,658	17,485	林業課
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					